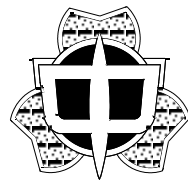


心れあい

尼崎市立南武庫之荘中学校新聞
令和 3 年 12 月号
第 25 / 242 号 Tel.6436-2241
<http://www.ama-net.ed.jp/school/j17>
文責：屋敷 成治



協働でやりとげた学校行事

早いもので2学期の学校生活も後5日余りとなりました。3年生は進路を決める大切な時期になり、1・2年生は新しい生徒会執行部の選挙も終わり、世代交代の時期が近づいてきました。



緊急事態宣言が解除され、体育大会から50周年の記念式典まで団結・協力して取り組み、行事ラッシュを無事に終えることができました。特に、金沢での1泊2日の修学旅行は、多くの人に支えられ成し遂げた行事でした。どの行事を振り返ってみても、短期間で集中して取り組み、充実した内容でした。放課後、行事が終って下校する生徒の様子を見てみると笑顔で堂々と胸を張り、「行事は人を成長させるんだなあ」としみじみ思いました。

部活動や行事は、教科の勉強とはあまり関係ないように思えますが、取り組む課題が困難であればあるほど、終えた時の達成感が大きく、それがまた次の目標に向かうエネルギーになります。人生はよくマラソンや山登りに例えられますが、山頂まで自動車で登ると何時間も掛けて歩いて登るのは目の前の景色は同じでも、感動が大きく違います。市内の代表が集まる中高合同音楽会では、本校から3年6組が代表で出場しました。アルカイクホールという大舞台にもかかわらず堂々とすばらしい合唱を披露してくれました。合唱だけでなく立ち振る舞いも立派でした。そこにたどり着くまでの大変な努力があったからこそ、もてる力を本番で存分に発揮できたのだと思います。

また、6組の皆さんは学校の外の世界に出て、上には上がいるということも知り、次はもっと上を目指そ



うという気持ちが沸き上がったはずですが、その後の50周年の式典では、3年生代表が会場の皆さんに感動を与える合唱ができました。中学校を卒業したら広い世界に出て行きます。今の自分に満足せず、これからもどんどん挑戦してほしいと思います。

南武庫之荘中学校50周年記念式典

11月13日は、稲村市長様をはじめ多くのご来賓や地域の方々にご来校いただき、昨今のコロナの状況にもかかわらず、華やかな式典が開催できました。



オープニングの祝い太鼓(さすがプロ)から、フィナーレの全員による校歌斉唱まで、会場が感動に包まれました。昭和47年、本校は生徒増に伴って水堂小学校の全域、立花西小学校と武庫南小学校の一部を校区とし、1年生のみの7学級でスタートしました。高度経済成長の最中、社会変遷の影響を受け、学校現場はいわゆる荒れの状況にありましたが、先輩方の献身的なたゆまぬご努力により、現在は学業と部活動の両面で優秀な成績を収め、まさに地域に誇れる学校となりました。

現在は生徒ひとりひとりの手元にはタブレット端末があります。これからの変化の激しい社会では、子どもたちに「多様な人々と協働し、主体的に学び続け、課題を解決する力、新たな価値を創造する力」を育てていかなければなりません。それは難しいことのようにですが、校訓にある「考える人になろう」「助けあう人になろう」「たくましい人になろう」とまさに通じるものがあります。世の中が大きく変わっても、「人間性の育成」については変わるものではなく、端末などを新しいツールとして活用し、今後も南武庫之荘中学校は発展していくものと信じています。

近年は、コロナや大雨による災害など予期せぬ出来事が起こり、改めて当たり前の日常に感謝することや他者を思

いやり、互いに協力することの大切さを学ぶ機会となりました。子どもたちに明るい未来が開けるよう、今後も「ともに汗を流し、ともに学び、ともに喜びを共感できる学校作り」「時代の変化に適したわくわくする学校づくり」を進めてまいりますので、皆さまの一層のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

部活動などの表彰



令和3年度阪神中学校新人大会

・卓球部女子団体：準優勝 県大会出場



尼崎市1年生大会

・女子ソフトテニス部 個人：優勝 1年右近/美馬ペア

令和3年度中・高校生の「税の作文」

・兵庫県納税貯蓄組合総連合会会長賞 3年石井
・尼崎市納税貯蓄組合連合会会長賞 3年佐々木綾/三戸

お知らせ



(1) 5月に実施された全国学力調査では、全国の正答率と比較して国語・数学とも正答率が-4Pでした。国語では読むことや記述、数学では図形が弱い傾向にあります。生活実態調査では、教科への関心は高いものの、ゲームやスマホの使用時間が長く、家庭学習や読書の時間が、かなりマイナスの傾向にありました。

同省の子供追跡調査によると、小学生時代の自然体験や読書の量が、後の自尊感情の育成に関係し、家庭での手伝いや家族以外の大人と遊んだ経験の多さが様々な意識の成長に関係するそうです。これらの検証を踏まえ、自ら学ぼうという意識を高め、指導方法や学習状況を改善していきます。

(2) いよいよ来年1月12日から、尼崎市の中学校では初めての給食がスタートします。旧若草中学校跡地に新設された最先端の給食センターで、市内全中学校の給食が調理され、各校に運ばれてきます。給食では皆さんの成長を考え、栄養バランスの整った献立が提供されます。旬の食材や望ましい食習慣、栄養についても学びましょう。配膳やアレルギー対応などについては小学校での経験を生かして、初めての給食に四苦八苦する先生方を助けてください。

保護者の皆様、長い間、お弁当作りお疲れ様でした。それでは、良い年をお迎えください。

